



Vol.25

# 華

## Japan Therapeutic Care Association

発行：認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 発行者：武藤佐代子 印刷：ピーグ有限会社

## 手のぬくもりで、いのちに寄り添う

～ターミナルケアとグリーフケアにおけるセラピューティック・ケア～

理事長 武藤 佐代子

13年前、私は自分自身のグリーフケアの為にこのケアと出会ったと感じています。

癌であったという間に私の傍から消えてしまった夫。30年以上連れ添ったのに何の力にもなれなかった妻の自分。一緒にいて病気に気づけなかった罪悪感と後悔の念、そして日ごとに募る寂しさと喪失感が残りました。そんな時に学んだセラピューティック・ケアは私の心を少しずつ癒してくれる、まさにグリーフケアそのものでした。手のぬくもりをお届けすることで、同時に自分の心も癒されていくことに感動しました。

翌年にはターミナル病棟でのボランティアをさせて頂けるようになり、夫には出来なかったケアを多くの患者様にお届けしたいと月2回伺いました。

ある女性の患者様へハンド&アームケアを施術中、付き添いのご主人さまが興味深そうにご覧になっていたの、「いつでもこのように撫でてあげてくださいね」とお伝えしました。次に伺った時に、奥様が嬉しそうに「ハンドケアしてくれたんですよ」と笑顔を見せて下さったので、ご夫婦が優しいふれ合いの時間を過ごして頂けた事をとても嬉しく感じました。

また、当協会の施設セラピスト\*を導入してくださっているグループホームでは、職員の方が看取りにセラピューティック・ケアを用いて、利用者様やそのご家族様への癒し

の効果について事例発表されたと、嬉しいご報告を頂きました。

人生最後の時、ご家族様や看護・介護をされている職員の方は、何か自分にできることはないか、してあげられることはないかと思われるかもしれません。そんな時、ただゆつくりと優しくなでること、両の手のぬくもりを伝えることで、大切な方の心に寄り添い、魂に寄り添うことが出来るのがセラピューティック・ケアです。特別に必要な物は何もありません。ただ「ありがとう」の感謝を込めて、「愛してるよ」の思いを込めて、あなたの手のぬくもりをお届けください。



\*介護福祉士や看護師など、施設・病院のスタッフ対象で勤務先のみで施術できるセラピスト。

ターミナルケアの現場から

高知支部 講師 / コンプリメンタリーセラピスト 塩見 千代子

私は緩和ケア病棟を退職後より、がん相談センター高知に勤務、今は非常勤相談員として心のケアに携わっています。その中で、特に心に残っている方をご紹介します。



高知市内の古民家がんサロン

<病棟で>

がん患者さんは、よく身体のたるさを訴えられる。特に脚のたるさがありレッグケアが一番喜ばれた。レッグケアをすると、「あ〜極楽極楽」と言われ表情が緩む。

その女性の患者さんは、旅立つ前に「私の遺影を撮って」と希望され、スタッフが綺麗にお化粧をした写真を何枚も撮り、気に入った1枚を選ばれた。

そんな気持ちになったのは、レッグケアを通して快の体験をされ、穏やかな気持ちを得られたからかもしれない。

<訪問で>

術後20年で乳がんが再発し、ヘルパーさんの助けで独居生活中の方。ケアマネージャーから訪問の依頼があり、月に1回訪問を始めた。

毎回2時間余り、様々な思い出や今後の生活、旅立ちについてなど話してくださり、終わりには必ずネック&ショルダーケアを希望された。

できる限り在宅で、最後は緩和ケア病棟で、と決めておられた。県外にいる息子さん達に迷惑がかからないようにと、インターチェンジから近いお寺で永代供養の手続きをされた後、希望通り緩和ケア病棟から旅立っていかれた。

<訪問で>

訪問をしていた奥さんが途中で入院になられた。病室に伺った時、ちょうど熟睡しておられたため、ご主人への施術を申し出たところ、遠慮しながら廊下の椅子で受けて下さった。すると施術の途中で、嗚咽され始めた。

最愛の奥さんのお世話を1人でされながら、それまでは泣き言ひとつ言わない方だったが、施術を通して心の鍵が開き、様々な思いが溢れ出たのかもしれない。

セラピューティック・ケアの癒やしの力ってすごい、と同僚に言われながら病院を後にした。

セラピューティック・ケアは、心と身体の癒やしを提供する手技です。特に終末期の患者さんは勿論、ご家族も必要とされています。医療・介護施設のスタッフ、訪問看護の皆さんもぜひ学んで頂きたいと願っています。

施設セラピストとしての看取りケア

グループホームさわやかテラス春日 介護福祉士 北島 文

私は8年前にセラピューティック・ケアの施設セラピストになりました。現在は、グループホームさわやかテラス春日で、入居者さんの日々のケアに取り組んでおります。起床時など何気ない時に肩や背中に触れさせて頂き、ぬくもりを感じてもらったり、お亡くなりになられた時、エンゼルケアの一環として本ケアをさせて頂いています。

今日まで沢山の方をお見送りしてきましたが、その中でも一番印象に残っているTさんとのエピソードをご紹介します。

Tさんは入居当初から体調が思わしくなく、食事量も少しずつ低下していきました。延命治療は望まれず、「何もいりません。このままでいい」というご本人の意思を尊重しながら、関わっておりました。腕を振り払われたりなど、思うような施術が出来なかったこともありましたが、Tさんの表情はいつも穏やかで、私も優しく温かい気持ちになり、手のぬくもりを感じていただけていました。

91歳になられた翌日、Tさんは静かに旅立たれました。亡くなられたTさんにケアをさせて頂くと、肌艶が良くなり、表情も穏やかで、心安らかに眠っておられるようでした。この時、改めて本ケアの素晴らしさを実感致しました。きっと喜んでおられたのではないかと思います。

Tさんと親交のあった方々も「すごく綺麗、まだ生きているみたい。ありがとうございました」と言って下さり、このように自然な形でお見送りできたことに、セラピストとして感慨深いものがありました。

入居者さんが看取り期になると、出来る事が少なくなり、歯痒さを感じておりましたが、Tさんを通して「私にはセラピューティック・ケアがある」と再認識する事ができ、自信に繋がりました。看取りでない方でも、必要に応じてケアプランにセラピューティック・ケアを取り入れておりますので、これから入居者さんにぬくもりを感じて頂きながら、より良いケアをお届けしていきたいと思っています。



全国から115名の皆さまにご出席いただき、盛大に記念式典が執り行われました。記念講演は当協会顧問の久保千春先生(中村学園大学学長)に「ストレスによる心身の反応とケア」についてお話しいただき、祝賀会ではご来賓を代表して楠田大蔵太宰府市長、橋本武夫先生(若楠児童発達支援センター長)よりご祝辞を賜りました。

さらに、二ノ坂保喜先生(にのさかクリニック院長)ご夫妻と山の音楽家シャナさんによるギターとオカリナ演奏、動画で振り返る協会の歩みの上映、全国支部からのビデオメッセージのほか、会場内にはトヨタ紡織(株)への技術提供の紹介や、全国のボランティア先施設からのメッセージの展示も。

会場はどこを見ても笑顔が溢れていてとても幸せな空間で、秋吉美千代名誉理事長は「皆様のお陰です」と感謝していました。また明日からのボランティア活動を頑張ろう!と会員が心ひとつになった、25周年のお祝いとなりました。



武藤理事長より挨拶

秋吉名誉理事長より感謝の言葉



楠田大蔵市長



セラピューティック・ケアとの出会いや技術提供の紹介



橋本武夫先生



全国のボランティア先施設からのメッセージ



久保千春先生によるご講演



二ノ坂保喜先生ご夫妻とシャナさんによる演奏



## 25周年記念式典を開催しました

秋吉名誉理事長が英国赤十字社で誕生したセラピューティック・ケアの日本での普及を託されて25年。本部(福岡)、関東、北海道の3か所で、たくさんの皆さまとともにお祝いすることができました。



当日はあいにくの雨でしたが、秋吉名誉理事長、武藤理事長も出席し、100名以上のご来場で大盛況となりました。

「協会の25年のあゆみ」上映と名誉理事長のご挨拶に続き、当協会顧問の山口創先生(桜美林大学教授)によるご講演、共創パートナーであるアーティスト・橋本昌彦さんによる「LIFE@いのち」上映とコンサートと、たくさんの皆さまが25周年をお祝いしてくださいました。会場にお越しくださった皆様からは「命のぬくもりに感動した」「手の持つ力が素晴らしかった」との感想をたくさんいただきました。この良き出会いを大切に、今後の活動につなげていきたいと思ひます。



山口創先生による特別講演



橋本昌彦さんの映像作品上映とコンサート

秋吉名誉理事長も来道し、北海道ブロック主催の協会25周年記念イベントを開催。のべ100名ものお客様が足を運んでくださいました。

準備には実行委員6名が持ち味を發揮。華やかに飾り付けられた会場には活動の写真を展示、お子様にはごろごろスペースを設け、元気な声が聞こえていました。ゲストの『ここペリーな&おっしー』さんによる演奏は遠い国の大空を思わせ、優しさに満ち溢れていました。会員も北海道各地から駆け付け、無料体験会では心のこもった施術を提供しました。

ご支援くださいました苫小牧市役所健康支援課様、苫小牧市社会福祉協議会様にあらためて御礼申し上げます。



ここペリーな&おっしーさんによる演奏



北海道ブロック 協会25周年記念イベント会場

## 被災地支援(義援金贈呈)

### 能登半島地震被災地支援(石川県)

池上 照子

2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地への支援を検討した結果、現時点ではボランティアの受け入れが難しいため、「今できる支援を」ということで、会員有志で義援金をお送りすることになりました。

2月末までに213,000円が集まり、その全額を令和6年能登半島地震災害義援金として、3月26日に石川県にお送りしました。

今後、被災地と連絡をとりながら、有志で心のケアをお届けに行きたいと思っております。



### 九州北部豪雨被災地支援(東峰村)

伊藤 初美

2023年7月10日に発生した豪雨により再び甚大な被害に遭われた福岡県東峰村を10月27日に訪問し、会員有志からの義援金10万円を、宝珠山庁舎にて真田秀樹村長に贈呈いたしました。

その後、エフコープが主催された福島県飯館村と東峰村の交流会に参加させていただき、真田村長はじめ村民の皆様にはセラピューティック・ケアをお届けすることができました。

中にはまだ仮設住宅に住んでいる方もおられて、「今日は仕事が終わって参加した」等、施術の受け始めは色々と話して下さっていたのですが、途中から無口になりました。「一日立ちっぱなしで足がパンパンだったのが軽くなった」等おっしゃって頂き、私たちにとっても貴重なひとときとなりました。



真田秀樹村長にお渡ししました。

連載

## 各地区たより ~ 高知 ~

日本全国にいる会員の皆さんの活動や思いを知り、つながりを感じるための連載企画です。

### 再始動と新しい試みのスタート

高知では、昨年コロナが第5類になったのを機に、活動が本格的に再開しました。

施術先の施設は現在デイサービス2カ所、特養1カ所、がんサロン1カ所で、1~2名で月1回訪問、その他、夏祭りなどのイベントでもセラピューティック・ケアをお届けしています。施設訪問は半年が経過し、顔を覚えてくださっている方もおられ、訪問を心待ちにして頂いています。

また11月には高知に秋吉名誉理事長をお招きして、四国で初めてCT資格講座を開催することができ、3名のCTが誕生しました。初めて小学校の特別授業に伺う機会もありました。

「施設さままで入門講座を開催します」とご案内したり、様々な会合やマルシェ等に参加してのご案内も入門講座の受講に繋がっています。

高知支部長 塩見 千代子



## 当協会の活動を応援してください!

当協会は2014年7月、福岡県より認定を受け、福岡県の認定による最初の「認定NPO法人」となりました。認定NPO法人は、運営組織や事業活動が適正であり、公益性の高い活動をしていると認められた団体で、1口3,000円以上の寄附者を毎年100人以上集めることが義務づけられています。皆さまの温かいお気持ちを手の温もりに変え、一人でも多くの方にお届けできるよう、ぜひ当協会を応援してください!

### ■お振込でのご寄附

協会HPより「寄附金申出書」をダウンロードしてご送付いただき、下記の口座にお振込みください。  
ご寄附専用口座 ゆうちょ銀行 01770-6-166454 (特非)日本セラピューティック・ケア協会  
(通信欄に、お名前・ご住所をご明記ください)

\*他金融機関からお振込みいただく場合は、

ゆうちょ銀行 一七九(イチナナキユウ)店(179) 当座 0166454  
特定非営利活動法人日本セラピューティック

### ■スマホで応援する ~ソフトバンク「つながる募金」をご利用ください~

ソフトバンクのスマホやPCから簡単に当協会へのご寄附ができます。ソフトバンクスマホをご利用の方なら、携帯電話の利用料金のお支払いと一緒に継続的なご寄附が可能。またソフトバンク以外のスマホからもクレジットカードによるご寄附が可能です。

### ■皆さまからいただいたご支援の使いみち

当協会では生老病死すべての場面で、手のぬくもりを通して、心のぬくもりをお届けしています。いただいたご寄附や支援金は、高齢者支援、子育て支援・産後ケア、被災地支援などの公益活動に使わせていただきます。

3,000円以上のご寄附は税控除の対象になります。確定申告を行うことで、ご寄附の最大約50%が戻ってきます。控除を受けるためには、寄附金申出書など所定の手続きが必要となりますので、お住いの市町村にお尋ねください。  
詳しくはHP  
<https://therapy-care.net/donation/> をご覧ください。



認定NPO法人

日本セラピューティック・ケア協会

心とからだに寄り添う“手当て”

〒818-0125 福岡県太宰府市五条2-6-1-202

TEL:092-928-1546

FAX:092-555-9401

E-mail:info@therapy-care.net

HP:<https://therapy-care.net>



協会HP



Facebook



Instagram